

# 30周年を迎え

# さらなる貢献を

Photo  
REPORT  
フォトリポート



本機構では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているなか、テレビ会議やWEB配信を積極的に活用しつつ、社会的な状況等も踏まえながら、対面形式を併用したハイブリッド方式による委員会等も開催するなど、インターネットを活用し、柔軟な対応を図っています。参加される皆様にはお手をかけすることもあるかと存じますが、引き続きご協力をお願いいたします。

## 第2回技術委員会



12月5日に本機構にて令和4年度第2回技術委員会（委員長＝京都大学・松井三郎名誉教授）を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、テレビ会議と併用で開催しました。

本機構で実施する調査研究では、技術委員会をはじめとする学識経験者、国、地方公共団体、民間等の有識者で構成された各種委員会を設置・開催し、調査研究の内容を専門的かつ公平・客観的に審議し、成果を取りまとめています。

今回は、新規テーマ1件、継続テーマ4件、終了テーマ1件の、合計6件が審議されました。なお、新規テーマは「下水処理場におけるN<sub>2</sub>O排出量削減技術に関する共同研究」、継続テーマは「下水処理場における電気料金の削減手法に関する共同研究」、「下水処理場等における電気設備のレジリエンスに関する共同研究」、「中大口径における点検調査技術に関する調査研究」、「手賀沼終末処理場消費エネルギー診断に関する共同研究」、終了案件は「災害停電時マンホールポンプ起動支援システムの開発に関する共同研究」です。

## 第77回下水道新技術セミナー

11月22日に、第77回下水道新技術セミナーを開催しました。同セミナーは、国土交通省で作成した手引きや最新動向について、地方公共団体や民間企業等の技術者に伝えることを目的に実施しているものです。

テーマは『『下水道事業の持続・成長に向けて』～国の予算概算要求の概要等や脱炭素化に向けた先進事例を紹介～』とし、多くの方にご聴講いただきました。

特別講演として、国土交通省水管理・国土保全局下水道部の石井宏幸下水道事業課長が「下水道行政の最近の動向」をテーマにご講演くださいました。このほか、東京都下水道局、富良野市建設水道部、富士市上下水道部、豊橋市上下水道局、佐賀市上下水道局に、脱炭素に向けた先進事例を発表していただきました。

石井課長の特別講演内容については、本誌「講演ダイジェスト」コーナーで概要を掲載しています。



## 技術サロン

令和4年10～12月に下水道技術サロンをウェビナーで開催しました。全国から多くの方々に参加していただき、各回で活発な質疑応答が行われました。

第410回では本機構研究第一部の土師健吾主任研究員が「変革の中で挑むサウジ水行政」、第411回では日本下水道事業団の細川顕仁理事が「J S 技術開発50年の歩み」をテーマに講演を行いました。

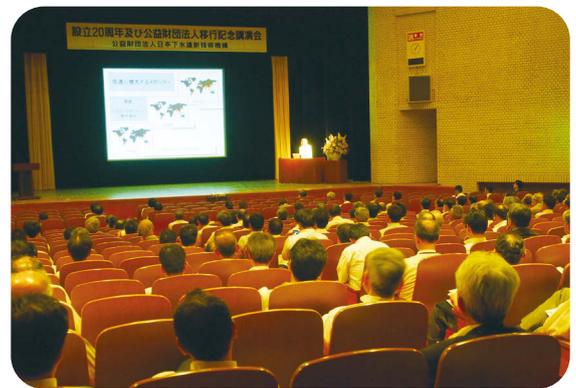
なお、講演内容については、本誌「講演ダイジェスト」コーナーで概要を掲載しています。



## 30周年記念講演会を開催します

本機構設立30周年を記念し、令和5年3月13日（月）13時より文京区・文化シビック大ホールにて記念講演会を開催します。現在、開催に向けて準備を進めているところです。

本機構から「30年のあゆみとこれから」について紹介するほか、記念講演として京都大学名誉教授、同経営管理大学院特任教授の小林潔司氏、北海道大学大学院理学研究院教授の増田隆一氏にご講演いただきます。また、特別講演として国土交通省水管理・国土保全局下水道部長の松原誠氏にご登壇いただく予定です。参加費用はございませんので、ぜひご参加ください。



20周年記念講演会の様子